



既存フェリー(手前)と新造フェリー(奥)

# 徳島小松島港沖洲(外)地区複合一貫輸送ターミナル整備事業 四国横断自動車道 阿南四万十線 阿南～徳島JCT

## 四国の産業を支える物流拠点！

現在 now

将来 future

インフラ



港湾と道路  
の連携整備  
物流効率化

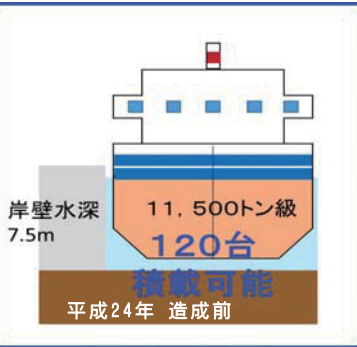


生産性向上に寄与

整備効果

フェリー  
運航会社  
平日は常に満載で  
積み残しが発生

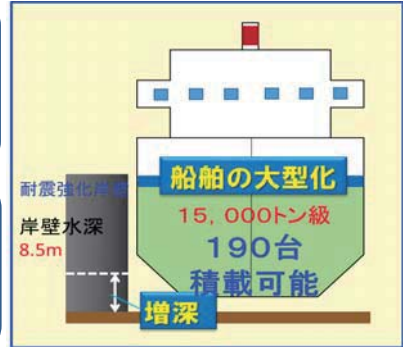
運送事業者  
長距離ドライバー  
が不足



船舶の  
大型化  
に対応

フェリー  
運航会社  
トラック運転手不足が  
恒常化しつつあるため、  
フェリー需要は今後高  
なる見込み

運送事業者  
荷主(製造業)  
・長距離陸上輸送と  
比較してコスト縮減  
・CO<sub>2</sub>削減のため、  
モーダルシフトを計画



徳島小松島港は、四国4県の貨物を集約し、東京・九州へ毎日フェリーで輸送できる四国で唯一の港湾

岸壁の完成にあわせたフェリーの大型化により、  
輸送能力が年間約4.4万台から約6.9万台に増加予定  
(新造船「フェリーびざん」がH28年1月に就航。その他の新造船がH28年度に3隻就航予定)

高速道路のICと直結する港湾の輸送ターミナルの構築により、  
四国の輸送効率を向上する物流拠点を形成

四国内企業約50社が定期利用



MAP

生産性向上に寄与し  
今後さらなる発展へ